

研究開発プログラムの評価

最新の分野別研究開発プランにおいて定められた研究開発プログラム毎に

- 政策評価における測定指標
- プログラムに含めた達成目標を構成する事業の、行政事業レビューにおける成果指標（アウトカム）、活動指標（アウトプット）
- その他適切と思われる指標（分野別委員会等で検討）

などについて、添付のフォーマット（事前分析表及び行政事業レビューシートを添付可）に従い、プログラム全体の状況を把握（モニタリング）し、分野別委員会等から研究計画・評価分科会に報告する。その際、プログラム全体や研究開発課題の進捗状況がわかる既存の数ページ程度の資料を当該フォーマットに添付する。

なお、指標については、分野別委員会等や研究計画・評価分科会の議論を踏まえ、適宜変更できるものとする。

第11期中には1度実施するものとし、その後、当面は各委員会毎に隔年で行うこととする。ただし、第11期中の試行の結果については、期の最後にまとめ、今後の進め方の提案も含め、次期に申し送りを行うこととする。

分野別研究開発プログラム評価の将来に向けての進め方のイメージ（案）

プログラム評価の目的

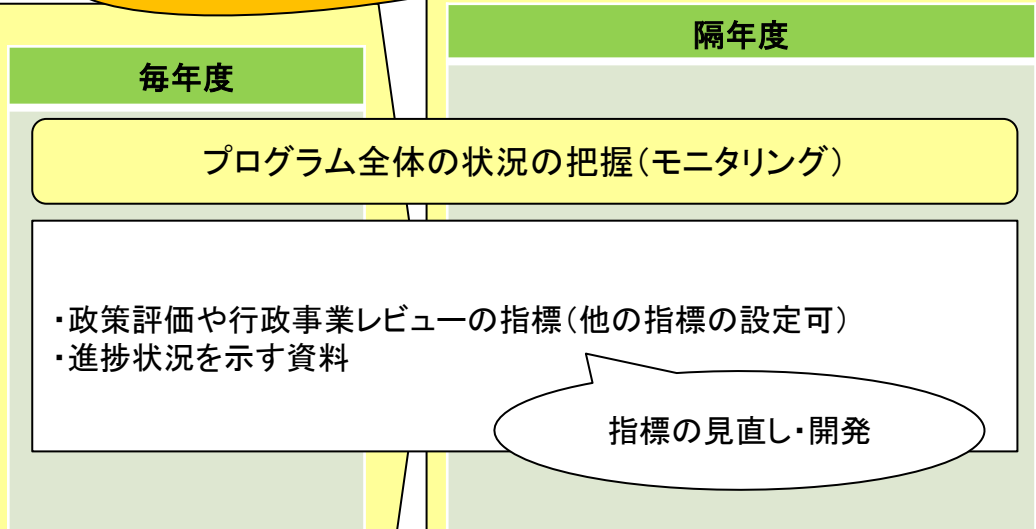
研究開発プログラムの実施の当否を判断、研究開発の質の向上や運営改善、計画の見直し等

領域間の配分やプログラム運営の適切性等の視点も含めた研究開発プログラムの評価

プログラムの評価手法等の
開発・改良、評価の高度化
評価手法等の具体化

様々な評価の有機的な連携

事前評価	中間評価 (約5年おき)	事後評価	(追跡評価)
類似のプログラムや当該プログラムが実施されなかった場合との比較	<ul style="list-style-type: none"> アウトカムに係る期待した成果と実績との比較(達成度評価) 評価基準に照らした実績の多寡(価値評価) 上位政策や関連政策との位置付けも踏まえた研究開発プログラムの効果を高めるための修正・改善方策(レビュー評価)等 		
評価の観点 「必要性」、「有効性」、「効率性」等			
評価項目・評価基準 以下に関する評価項目・評価基準 <ul style="list-style-type: none"> 上位政策と関連政策との位置付け 目的・目標・当該研究開発プログラムが担う範囲 それらを実現するための仕掛けや仕組み 循環的な研究開発プログラムの見直し方法とそのため情報収集体制等の妥当性 			



第11期

第12期

第13期～

プログラム評価の定着後

プログラム評価の試行

次期科学技術・イノベーション基本計画(2026年～)

※それぞれの段階における利害関係者の範囲については整理が必要